



Professional Mixing Controller.

PCV-002

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011 ファックス 03-3412-7013
Web: www.vestax.com
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PCV-002プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いいたします。

目次

ご使用上の注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
各部の名称と機能	4
トップパネルセクション	4
フェーダーユニットの交換	6
リアパネルセクション	7
接続例	8
主な仕様	8

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどを耐久性の超えた使い方（スクラッチプレイでご使用になった場合等）をされると、通常のパーツの耐久期間（1年以上）が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



分解禁止

- ① 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないよう注意）が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



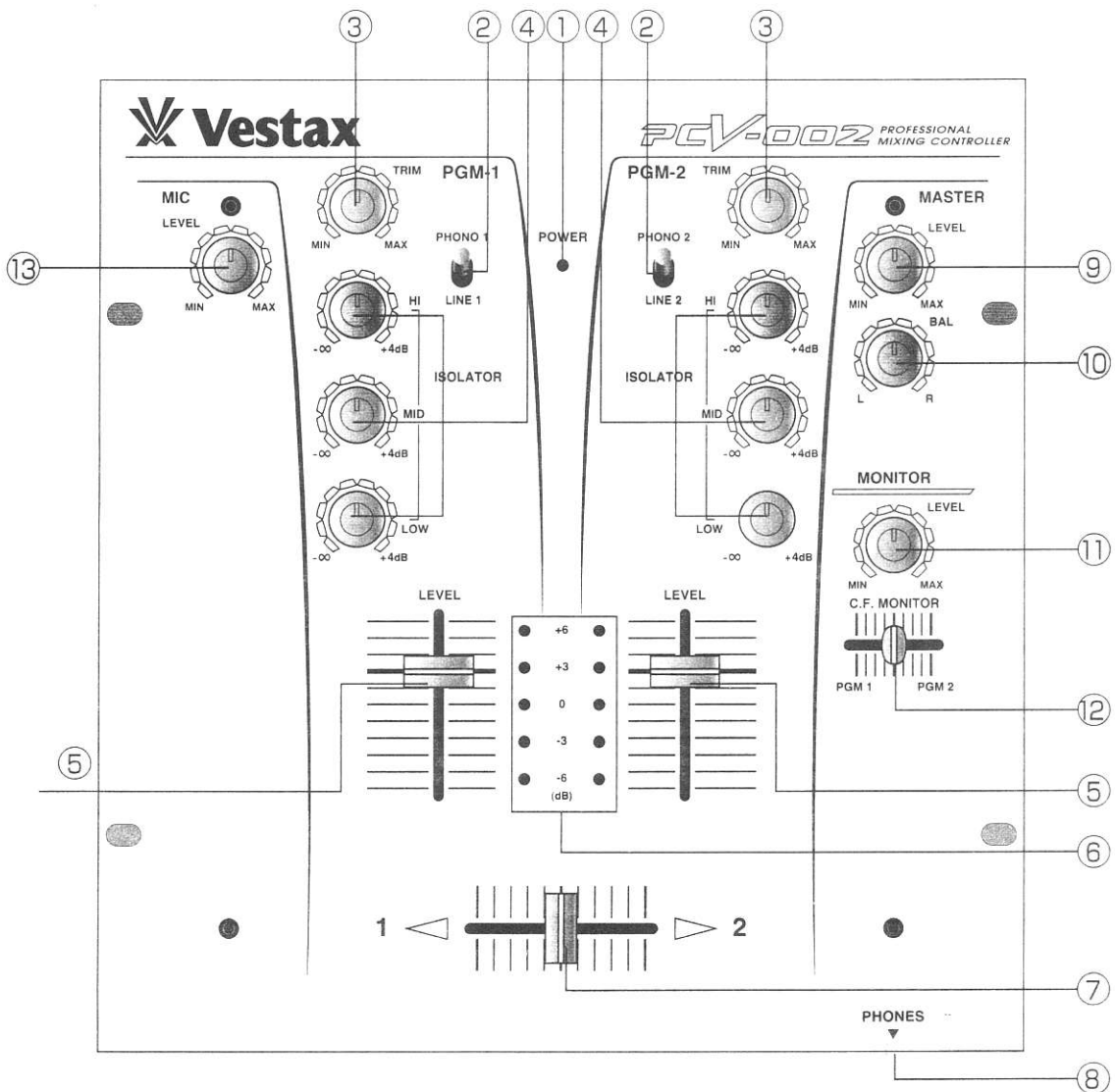
- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- PCV-002は、DJプレイに必要な基本機能をコンパクトなボディに凝縮したエントリークラスのDJミキサーです。
- 各メイン入力チャンネルにはトリムボリュームと、さらにHI、MID、LOWの3バンドアイソレーターを搭載しています。入力システムは、PHONO入力2系統、LINE入力2系統、MIC入力1系統の全5入力に対応しています。
- クロスフェーダーには、長年に渡り使用されている“CF-RUS”が標準装備されています。また、その滑らかな操作性と共に、過酷なスクラッチに耐えうる耐久性とカーブ特性をもった新タイプのクロスフェーダーCF-PCV(別売)に交換対応可能です。
- 操作面にパネルの継ぎ目のないダブルパネルシステム。クロスフェーダーはパネルの下にマウントされています。トップパネルをはずせば、簡単に交換することができます。

各部の名称と機能

トップパネルセクション



- ① **POWER (パワーインジゲーター)**
リアパネルの電源スイッチがONのときにLEDが点灯します。
- ② **INPUT SELECT SW (入力切替スイッチ)**
各プログラムチャンネルの入力をPHONO、LINEのいずれかに設定します。スイッチを倒した状態でLINEになります。トランスフォーマーとしても使用できます。
- ③ **PGM TRIM (プログラムトリムコントロール)**
PGM1とPGM2に入力された音楽ソースのレベル差を調節します。インプットフェーダーが目盛の7から8の位置でレベルが合うように調節してください。
- ④ **ISOLATOR HI, MID, LOW (3バンドアイソレーター)**
HI高音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
MID中音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
LOW低音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。
- ⑤ **INPUT FADER (インプットフェーダー)**
各プログラムチャンネルの入力された音楽ソースのレベルを調節します。
- ⑥ **INPUT LEVEL METER (入力レベルメーター)**
各プログラムチャンネルに入力されているレベルを表示します。(dB表示)
- ⑦ **CROSS FADER (クロスフェーダー)**
左側に移動するに従いPGM1の音が、右側に移動するに従いPGM2の音が、それぞれ出力されます。また、中央部では、両方の音が同時に出力されます。
- ⑧ **PHONES (ヘッドフォン端子)**
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンで、モニターセレクトフェーダーで選んだ音がモニターできます。
- ⑨ **MASTER LEVEL (マスターレベルボリューム)**
リアパネルのラインアウト端子から出力される音量を調節します。
- ⑩ **MASTER BALANCE (マスターバランスボリューム)**
ラインアウトのLチャンネルとRチャンネルから出力されるレベルのバランスを調節します。
- ⑪ **MONITOR LEVEL (モニターレベルボリューム)**
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。
- ⑫ **MONITOR SELECT (モニターセレクトフェーダー)**
ヘッドフォンでモニターする信号を選択します。PGM1側にセットするとPGM1に入力された信号を、PGM2側にセットするとPGM2に入力された信号をモニターすることができます。
- ⑬ **MIC LEVEL (マイクレベルボリューム)**
リアパネルのマイクジャックに接続されたマイクの音量を調節します。

フェーダーユニットの交換

注意

ドライバーを使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、必ずサイズの合ったものをご使用下さい。

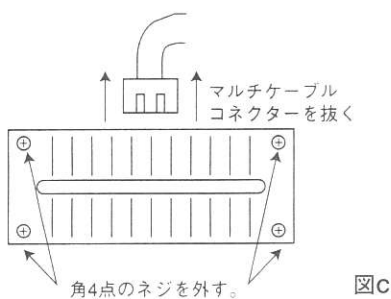
■トップパネルの外し方

- ① 図aのように、スライドボリュームのつまみを取り外して下さい。(計4個)
- ② トップパネルを固定している4点のネジを、図aのようにプラスドライバーを使用し、外して下さい。

■フェーダーの交換

- ① 図bのようにフェーダーパネルを固定しているネジを外し、フェーダーユニットを上を持ち上げて下さい。
- ② 図cのようにフェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。(その際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。)
- ③ 新しいフェーダーユニットと交換し、逆の手順で元に戻して下さい。

※交換可能なクロスフェーダーユニットは、CF-RUS、CF-R、CF-PCV になります。



図c

■CF-PCVに交換される場合

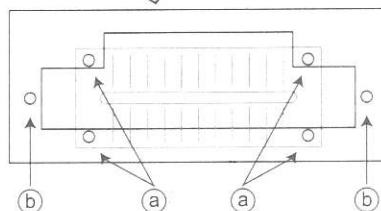
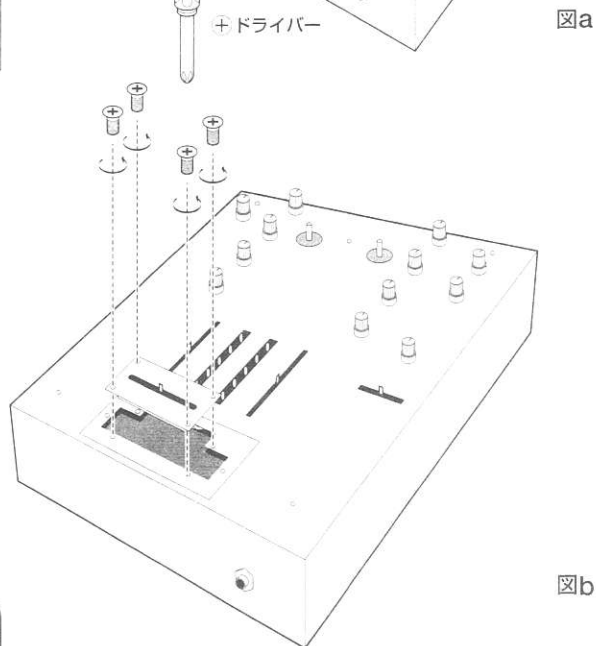
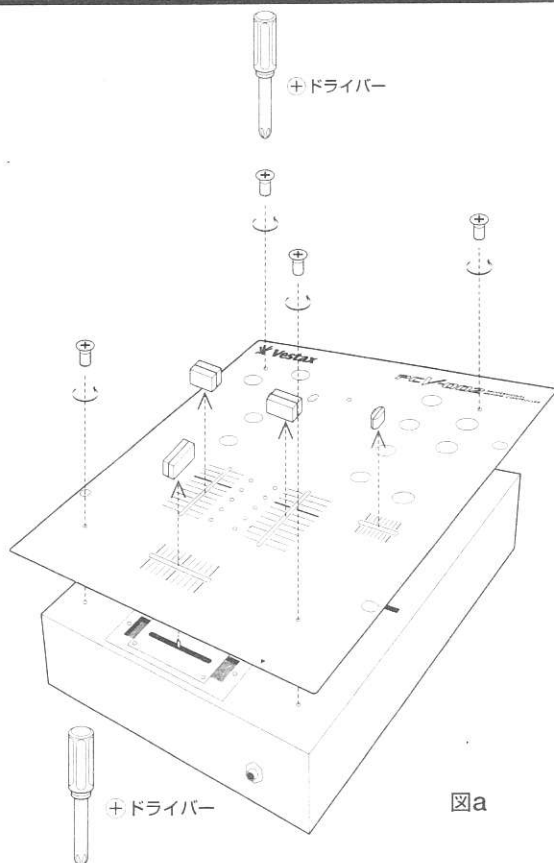
上記“フェーダーの交換”の要領で交換して下さい。但し、取付け位置は2点(図dの⑥位置)になります。

注意

CF-PCVには、切換えスイッチがついています。スイッチを“PCV”側にセットしてから、取付けて下さい。

注意

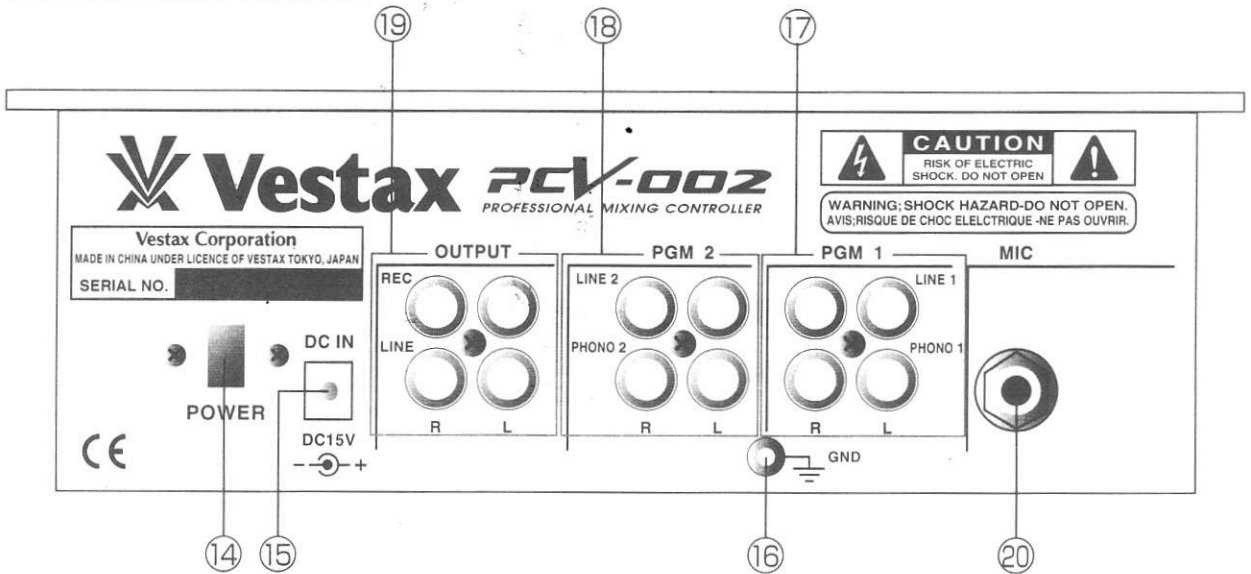
フェーダー交換の際に、印の部分のネジを緩めないで下さい。



図d クロスフェーダー交換時ユニット取付け位置

- ⑤: CF-RUS及びCF-Rへ交換時 (4点)
- ⑥: CF-PCVへ交換時 (2点)

リアパネルセクション



⑭ POWER SW (パワースイッチ)

電源のON/OFFスイッチです。ONのときにトップパネル上のLEDが点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行ってください。

⑮ DC IN (電源アダプター)

付属のACアダプター(DC-15A)を接続します。

⑯ GND (アース端子)

ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

⑰ PGM1 INPUT JACK (PGM1入力端子)

PGM1用の入力端子です。PHONOにはターンテーブルを、LINEにはCD,MD,DAT,テープデッキ、リズムマシン、サンプリャーなどを接続して下さい。

⑱ PGM2 INPUT JACK (PGM2入力端子)

PGM2用の入力端子です。⑰と同様に接続して下さい。

⑲ OUT PUT (ライン出力端子) [REC/LINE]

最終的にミックスされた信号が出力されます。アンプなどに接続して下さい。(オーディオ用アンプの場合、LINEやAUXの表記があるジャックに接続します。)2系統ありますので、メイン出力以外に片方を録音用出力として利用したり、DJブース内のモニター用出力として利用することができます。

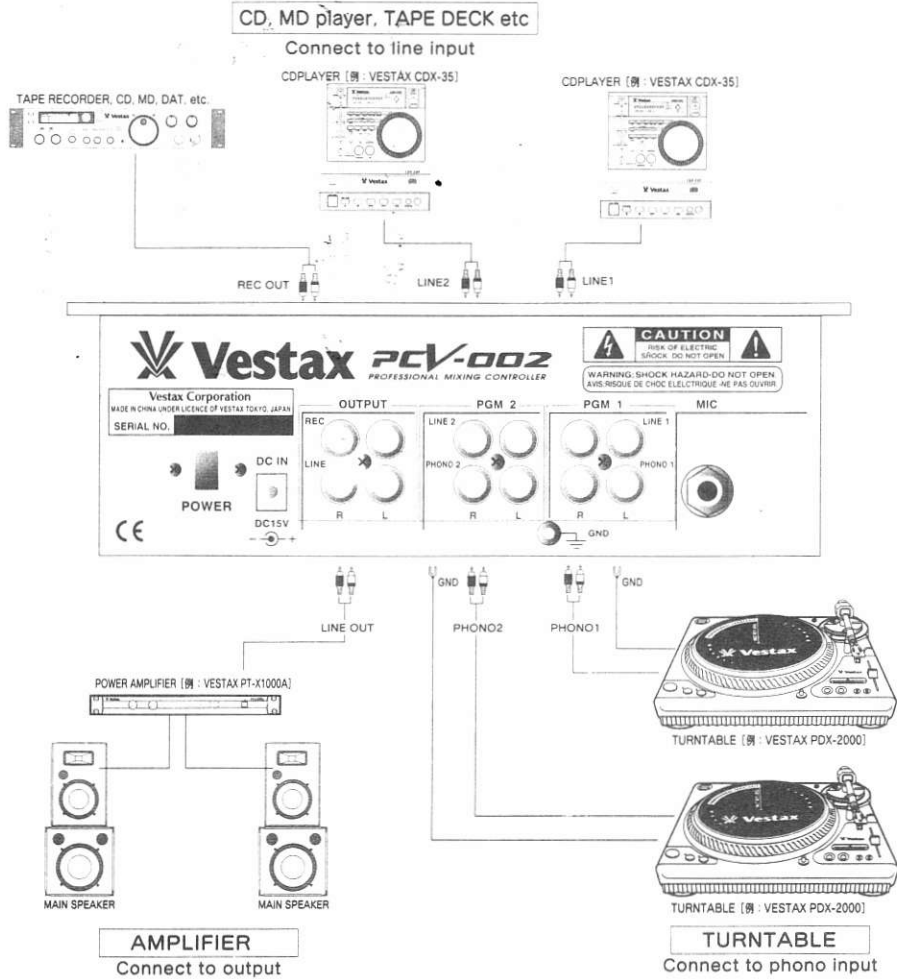
— ご注意 —

本機のPHONO入力にはMCタイプの針カートリッジは使用できません。ご使用の際には、昇圧トランスなどでレベルを調節して下さい。

⑳ MIC INPUT JACK (マイク入力端子)

マイク用の入力端子です。

接続例



主な仕様

		NOMINAL INPUT	IMPEDANCE	
INPUT SECTION	PHONO 1, 2 (RCA PIN JACK)	-42dBv	470KΩ	
	LINE 1, 2 (RCA PIN JACK)	-10dBv	470KΩ	
	MIC (1/4" PHONE JACK)	-54dBv	3.3KΩ	
		NOMINAL OUTPUT	IMPEDANCE	
OUTPUT SECTION	LINE OUT (RCA JACK)	0dBv	220Ω	
			MAXIMUM OUTPUT	IMPEDANCE
	HEADPHONE (1/4" PHONE JACK)	70mW (47Ω load)	>8Ω	
FREQUENCY RESPONSE		20Hz ~ 20KHz		
CROSS TALK		>100dB		
S/N RATIO		<-82dB		
POWER SUPPLY		DC15V 500mA		
DIMENSIONS (W×H×D)		248×105×261 (mm)		
WEIGHT		3.5kg		